

野辺地マコガレイ種苗作出試験

(要 約)

高橋進吾

目 的

陸奥湾系群(野辺地産)のマコガレイ親魚から種苗の作出試験を行い、種苗放流による陸奥湾系群の資源造成を図る。

材料と方法

1 種苗生産技術開発

(1)種苗生産

野辺地地先で漁獲されたマコガレイ親魚 11 尾(雌 8 尾、雄 3 尾)から、平成 23 年 12 月 26 日に人工採卵を行い、そのふ化仔魚を用いて種苗生産試験を行った。

(2)中間育成

種苗生産で得られた稚魚を用いて、当研究所の陸上水槽(10 t 円形水槽 1 面、30 t 円形水槽 1 面)を用いて飼育試験を行い、野辺地地先に放流した。

結果と考察

1 種苗生産技術開発

(1)種苗生産

ふ化仔魚 16.0 万尾(ふ化率 46%)を用いて種苗生産試験を行った結果、平均全長 21.0mm、2.6 万尾の稚魚を生産し、生残率は 16.3%であった(表 1)。

表1 マコガレイ種苗生産結果

ふ化仔魚の収容			取り上げ稚魚				生残率 (%)
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	年月日	飼育 期間	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	
H24.1.12	4.3	16.0	H24.3.22	70 日	21.0	2.6	16.3

(2)中間育成

種苗生産で得られた稚魚 2.6 万尾を用いて、平成 24 年 3 月 22 日から飼育試験を開始した。

表2 マコガレイ中間育成(陸上水槽)結果

開 始				終了(放流)				生残率 (%)
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	使用水槽	年月日	飼育 期間	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	
H24.3.22	21.0	20,000	円型30t・1面	H24.4.11	20 日	23.9	16,600	83.0
H24.3.22	21.0	6,000	円型10t・1面	H24.4.11	20 日	23.9	4,400	73.3
合計		26,000		合計		21,000		80.8

陸上水槽を用いて 20 日間の飼育を行い、4 月 11 日に 2.1 万尾(平均全長 23.9 mm)を野辺地地先に放流した(表 2)。

発表誌：野辺地マコガレイ種苗作出試験報告書。(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所。平成 24 年 4 月